

令和4年度 済美南地区自治協議会事業計画書

1 現状と課題

ますます顕著になってきた、住民の少子高齢化等、急変するライフスタイル、多様化するニーズ、依存形傾向や自治会への加入率の低下や、担い手不足で活動の衰退が伺われる。

特に住民の繋がり的气薄化は、地域連帯感、住民相互扶助精神の気薄化が憂慮される。

新型コロナ関連で活動が制約される中、新たな観点からの活動を模索して行く。

2. 基本方針

上記現状と課題を鑑み、済美南地区の住民が「生まれて良かった、暮らして良かった我が町済南」「きれいな町済南」と、誇りをもって暮らせる町づくりに努める。

やって貰うから、自身の意思でやり遂げる活力のある民度の向上を図る。

3. 事業計画（部会別活動）

(1) 安全・安心に関する部会

① 地区総合防災訓練の実施。

限られた時間内に、参加者個々の防災意識を問う、自主選択訓練、研修と避難所開設、運営会場を含む「体験会場ブース」の増設を図り、実践的訓練を通じ「自分の命は自分で守る」為の訓練を実施する。

② 夏季・冬季と地域夜間巡視活動を行う。

地区指定主要道路2路（青少年の非行防止。防火防犯・夜間主要道路非難訓練）

③ 安全安心街づくり研修会の実施

「ならまち交番現況報告」を含めた研修会を行う。

④ 普通救命講習会を開催する。

参加者：各自治会1～2名参加

⑤ 「暮らしと安全」をテーマの研修会の実施。

テーマ：巧妙な手口で増え続ける「特殊詐欺被害」

- ⑥ 9月1日防災の日の事業
地区各自治会別管理消防施設の自主点検の実施。
- ⑦ 児童の登下校みまもり活動の実施。
済美南地区安全推進協議会員・PTA・小学校おやじの会によるみまもり活動を実施。
「ながら見守り」の具体的実施方法の構築、啓蒙により構える行動から普段の生活で出来る見守り活動への変化で、活動のすそ野を広げ、合わせて相互に見守り・見守られる環境作りに尽力する。

(2) 健康福祉に関する部会

- ① 健康体操の開催。
月2回、主に女性による健康体操を実施。
- ② 独居高齢者宅への訪問活動
民生委員と同行訪問する。
- ③ 地域の有志による「グランド・ゴルフ」の開催。
- ④ 地域生活支援を行う介護施設と協働し「子ども食堂」の実施。

(3) 教育・文化に関する部会

- ① 人権に関する地区別研修会の開催。
各自治会より1～2名参加する。
- ② 地域の小学校児童対象に「放課後子供教室」の実施。
地区社会福祉協議会・女性防災クラブ員により教室を開催。
- ③ 地域の小学校でのクラブ活動へお手伝いを派遣。
- ④ アマチュア落語家を招いての「済南寄席」の開催。

(4) 環境整備に関する部会

- ① 地域の美化活動を実施。
繋がりプロジェクトを立ち上げ。近隣の住民による岩井川内および堤防・道路の除草活動をしており、その活動を能登川へも拡大し併せて地域内清掃活動を実施。
- ② 小学校の環境整備を実施。
校内の花壇の植栽・周辺の樹木の剪定作業を実施する。
- ③ ごみ及び再資源（ペットボトル・空き缶・ビン）の分別の徹底。
- ④ ごみの削減促進のため自治会主体による、古紙回収の拡大。

(5) 地域交流・活性化に関する部会

① ふれあいサロンの開催。

主に、地域の高齢者・子育て中の親子を対象にサロンを開催。

② 地域の小学校の「済南ふれあいフェスタ」を共催する。

地域の高齢者と子供たちのふれあいを目的のフェスタを開催。

⑤ 地域の中学校のふれあい文化祭に参加する。

⑥ ふれあい夏まつりの開催。

⑦ ふれあい餅つき大会の開催。

⑧ 地域の地蔵尊夏祭りの開催。

⑨ 地域の氏神神社の秋まつり等のお手伝い。

⑩ コーラス同好会の開催

コーラスグループ「ラ・ラ・ラ すずめ」は、月2回歌を通じて地域交流を図る。